



校長室だより

第 1 2 号
(通算第65号)
令和4年6月15日(水)
大崎市立沼部小学校
校長 吉田浩之

キャップハンディ体験

14日(火)2・3校時に4年生がキャップハンディ体験をしました。大崎市社会福祉協議会田尻支所、平井様、柏原様、佐藤様の3名の方から御指導いただきました。

体験の前に福祉講話をいただきました。社会福祉協議会がどのような活動をしているかという、「皆さんの中には様々な困りごとや悩み、思いを抱えている人がいます。そんな一人一人の思いや悩みを聞き、笑顔で暮らしていけるように、皆さんのお手伝いをさせていただいています。」ということでした。みんなの⑤だんの④らしが①あわせであることが福祉のもつ大きな意味だということを教えていただきました。ユニバーサルデザインについても教えていただきました。「年齢、性別、国籍、障がいのあるなしに関わらず、すべての人が簡単に分かりやすく、使いやすく設計されているもの。」だそうです。最近よく聞く言葉ですが、意味を教えてくださいと、なるほどなあと感じますね。

その後、目隠しをしての白杖体験、車いすの乗車と介添えの体験を2つのグループに分かれて体験しました。目隠しをすると、「お化け屋敷にいるみたいで、怖かった。」という感想も聞かれました。車いすでは「5cmの壁」を実感できたと思います。4年生は、みんなが仲良く笑顔で暮らすことができるように、自分たちができることは何かを、考えるきっかけとなったと思います。



畑での作業(1年・2年・あおば)

2年生と1年生がサツマイモの苗を植えました。あおば学級ではサツマイモ、なす、キュウリ、枝豆を植えるため草取りをしました。たくさん収穫できるといいですね。

畑の耕し、マルチ掛けなど業務員の新沼さんが準備してくださいました。感謝しながらお世話してほしいと思います。



※ 14日の引き渡し訓練、開始から40分ほどで、全員引き渡すことができました。御協力いただきましてありがとうございました。